別紙

Ⅰ．事業評価総括表

（単位：円）

番号	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	広報・調査等事業	岡山県、鏡野町	8,912,248 円	8,818,648 円	
2	原子力広報研修施設整備事業	岡山県	14,850,000 円	14,850,000 円	

Ⅱ．事業評価個表

番号	交付金事業名		
1	広報・調査等事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	岡山県、鏡野町		
交付金事業実施場所	岡山県内		
交付金事業の概要	広報事業　パンフレットの作成 その他　　広報展示施設の管理・運営		
総事業費	8,912,248 円	交付金充当額	8.818,648 円
		うち文部科学省分	8,818,648 円
		うち経済産業省分	0 円
交付金事業の成果目標	発電用施設に対する正しい知識の習得のための広報・調査等事業を実施し、発電用施設の設置及び運転の円滑化について地域住民の理解の促進を図る。		
交付金事業の成果指標	①施設見学バス事業においてアンケートを実施し、受講者の講義内容の理解度を 70%以上とする。 ②アトムサイエンス館の来館者数を 4,500 人以上とする。 ③アトムサイエンス館の来館者へアンケートを実施し、回答者への理解度を 70%以上とする。		
交付金事業の成果及び評価	パンフレットの作成（2,000 部）、配布等により、多くの県民に対して原子力・放射線に関する正しい知識の普及啓発の取組を実施することができた。 施設見学バスツアーについて、㈱JTB 岡山支社に委託するなどして参加団体を幅広く募集（最大４団体・160 人）したものの、応募がなかったため、アンケートを実施できなかった。 アトムサイエンス館の維持管理及び補修を適切に行い、放射線の基礎知識の普及啓発を図ったところ、来館者数が 5,692 人（前年度 4,789 人）となり、前年度来館者数を 903 人上回った。引き続き、県内幅広く、施設・団体等へ広報事業及びアトムサイエンス館について周知を図り、来年度以降も来館者数の増加を目指す。		

	来館者に対しアトムサイエンス館での広報内容に係るアンケートを実施したところ、理解できたと答えた人の割合は 92.6%（回答数：85 名）であり、知識の普及啓発の効果が認められた。 交付金事業全体としては、施設見学バスツアーは開催できなかったものの、仮に当該ツアーが実施された場合における参加者の増分は最大 160 人（来場者総数は最大 5,852 人）となり、その増加割合は約３％と軽微であるため、②来場者（5,692 人）の理解度が極めて高かったという結果をもって、成果はあったものと考える。

交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
パンフレット印刷（岡山県）	随意契約（見積合せ）	（株）セイキ	305,580 円
リーフレット印刷（岡山県）	随意契約（見積合せ）	（株）セイキ	41,250 円
アトムサイエンス館運営管理業務（鏡野町）	随意契約（特命）	人形峠原子力産業㈱	4,950,000 円
アトムサイエンス間清掃業務等（岡山県・鏡野町）	―	人形峠原子力産業㈱等	3,615,418 円

成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無

無